

氏名	栗 生 雅 人
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第 3435号
学位授与の日付	平成12年3月25日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	Expression of CD44 variants in osteosarcoma (骨肉腫におけるCD44 variant の発現の検討)
論文審査委員	教授 赤木 忠厚 教授 田中 紀章 教授 岡田 茂

学位論文内容の要旨

接着分子であるCD44は、ある種の腫瘍細胞に発現を認め、その悪性度や転移能との関連性が注目されている。今回骨肉腫におけるCD44の発現と予後との相関につき検討した。対象は当科で治療を行った骨肉腫39例で、このうち経過中再発した5例についても追加検討した。抗ヒトCD44H、CD44v3、v4、v5、v6、v7、v9、v10抗体を用い、ホルマリン固定パラフィン切片を免疫染色した。CD44Hは39例中33例(85%)、v3は19例(49%)、v4は21例(54%)、v5は23例(59%)、v6は18例(46%)、v7は2例(5%)、v9は11例(28%)、v10では4例(10%)に発現を認めた。CD44v6の発現例と非発現例の無遠隔転移累積生存率には統計学的有意差が認められた($P=0.0465$)が、他のvariantでは有意差を認めなかった。再発した5例の組織ではすべてCD44v6陽性であった。以上よりCD44v6は骨肉腫における転移機序に関与していることが示唆された。

論文審査結果の要旨

本研究は、骨肉腫におけるCD44の発現と予後との相関について検討したものであり、CD44Hや各種variant formのうちCD44v6の発現例だけが非発現例に比し、無遠隔転移累積5年生存率が有意に良好であることを明らかにしている。骨肉腫の転移機序におけるCD44v6の関与について重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。